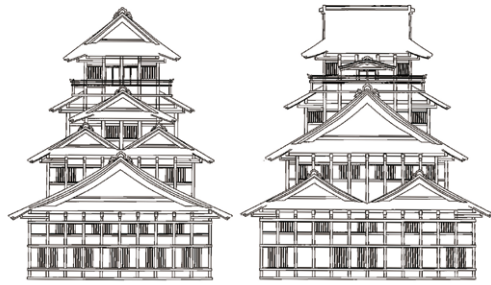


江戸時代後期の福井城下



(福井市立郷土歴史博物館の資料を基に作成)

続日本100名城 福井城



福井城は徳川家康の次男・結城秀康が天下普請により築いた城。約270年間にわたり越前松平家の繁栄の舞台となった。かつては本丸を中心に二の丸・三の丸を同心円状に配した、四重・五重に堀を廻らす環郭式の縄張りを持つ城だった。石垣をはじめ、天守や櫓の瓦、土堀の腰板などに福井市の足羽山で採掘された笏谷石が使われていた。

福井城 基本情報

- 曲輪・縄張：環郭式・平城
- 天守の高さ：4重5階／約30m
- 築城開始：慶長6年(1601)
- 完了年：慶長11年(1606)
- 廃城年：明治4年(1871)
- 築城主：結城秀康
- 遺構：石垣、水堀、天守台、井戸
- 復元：山里口御門、御廊下橋

※表紙：福井藩十二月年中絵巻「十一月 献上寒體早駈の図」(福井市立郷土歴史博物館所蔵)
 ※福井城図：「御天守絵図」(松平文庫 福井県文書館保管)参考

重ね捺し御城印スタンプラリー開催中!

専用の台紙に、福井城周辺のスポット5ヶ所に設置されているスタンプを重ね捺しすることで絵柄が完成し、御城印としてお持ち帰りいただけるスタンプラリーです。



重ね捺し御城印
スタンプラリーに
ついてはこちら



【参加方法】 ※福井県庁、養浩館庭園では台紙の販売はありません

① 台紙(300円)を3ヶ所いずれかの施設で購入

② 5ヶ所全ての施設を巡り、それぞれでスタンプを押して完成

| スタンプ設置施設 | 台紙販売 |
|---|------|
| ● 福井県庁1階受付 (土・日・祝日は守衛室で押印可) | |
| ● 養浩館庭園 | |
| ● 福井市立郷土歴史博物館 (休館日は養浩館庭園でスタンプ押印、台紙購入可) | 台紙 |
| ● 柴田神社 | 台紙 |
| ● 佐佳枝迺社 | 台紙 |

ゆうきひでやす

初代福井藩主 結城秀康

江戸幕府を開いた徳川家康の次男。豊臣秀吉の養子となり、その後下総国(現在の茨城県南部)の名門、結城家の養子となった。関ヶ原の戦いの後、その功績を認められて越前国68万石の大名となった。福井城と城下町の建設を行い、現在の福井市の基礎を築いた。



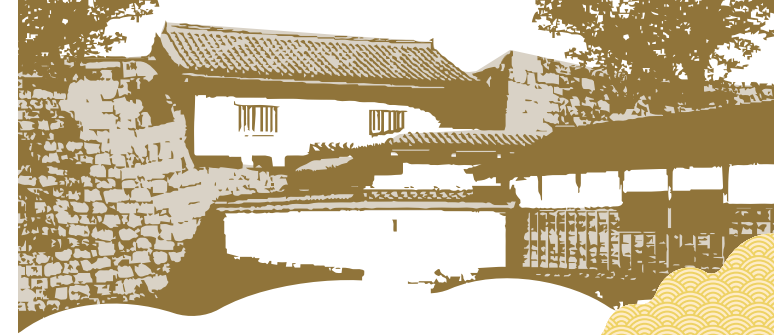
徳川家康・結城秀康 ゆかりのスポット情報→



【発行】福井県交流文化部文化・スポーツ局文化課

福井県福井市大手3丁目17-1

☎ 0776-20-0572



福井城の 歩き方

福井城ゆかりの地を巡る



現代の福井市中心部



日本遺産 福井城の石垣とお堀



日本遺産

石垣

福井城の石垣はすべて、足羽山産の笏谷石を継ぎ目が水平になるよう積み上げられている。なかでも天守台や門など城の要所の石垣は、四角くきれいに整形された石が用いられ、隙間なく整然としている。また、全国の諸大名が築城を手伝った痕跡として、石垣には400種余りの関係者の刻印が残されている。



天守台の石垣

お堀

四重五重に廻らされた福井城の水堀は、最も大きなものは「百間堀」と呼ばれ、幅は広いところで55間(約100m)あった。現在も残る内堀は幅約30m、石垣は高さ約10mを誇っている。



台紙購入施設

重ね捺しスタンプ設置施設

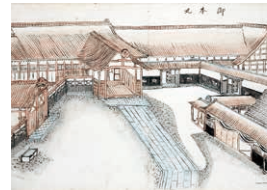
福井城

1 本丸御殿 (現在の福井県庁)

藩主が政務を行う場所で、約1000坪の広さがあったとされる。寛文9年(1669)の大火で焼失するも、再建改築され、現在はその一部が足羽山の麓にある瑞源寺に移築・現存している。

●時間/8:30~17:15

※ スタンプは平日は1階受付、土日祝日は1階守衛室で押印
※ 続日本100名城スタンプも設置



福井城旧景「御本丸」
(福井市立郷土歴史博物館所蔵)

2 山里口御門

本丸の西側を守るため築城当初に造られた門。櫓門と棟門で枳形を形成していた。寛文9年(1669)の大火で焼失、その後再建されたが明治初期に取り壊された。平成30年(2018)に遺構調査を基に復元された。



3 御廊下橋

藩主が本丸と御座所(現在の中央公園)の往復に用いた橋。全国でも珍しい屋根付きの橋で、本丸の西側にかけている。福井城築城400年の記念として平成20年(2008)に古写真を基に復元された。



4 天守跡・福の井

68万石の福井藩の権威を象徴する4層5階(高さ約30m)の天守で、現在も大きな礎石が残っている。天守台には築城当時からあったとされる特別な井戸である「福の井」があり、この井戸が福井の由来になったという説もある。



福井城ゆかりのスポット

5 養浩館庭園

越前松平家の別邸。城下を流れる水路「芝原上水」を引き込んで池を作ったことから、「御泉水屋敷」と呼ばれた。歴代藩主の休養や家族の住居、おもてなしの場として使われていた。国の名勝に指定されている。

●時間/9:00~19:00
(11月~2月は17:00まで)
●休/年末年始



6 福井市立郷土歴史博物館

福井藩や越前松平家に関する資料を多数見ることができ、福井城本丸の模型や九十九橋の実物模型等の展示がある。また、博物館建設の際の発掘調査で見つかった門や石垣を基に、江戸時代の状態に復原した「福井城舎人門遺構」を見ることができる。

●時間/9:00~19:00(11月~2月は17:00まで)
●休/不定休(休館日は養浩館庭園でスタンプ押印、台紙購入可)



7 柴田神社・北庄城址

織田信長から越前統治を任された柴田勝家が天正3年(1575)北庄城を築城。安土城をしのぐ規模ともされるが、天正11年(1583)に羽柴秀吉に攻められ落城した。その後入封した結城秀康が大幅に改修して福井城が築かれた。現在は勝家公とお市の方を祀る柴田神社が跡地にあり、「北庄城址」として整備されている。

●授与所(台紙) 時間/9:00~17:00
●北の庄城址資料館(スタンプ) 時間/9:00~18:00



8 佐佳枝迺社

明治6年(1873)、福井藩祖の結城秀康の偉業を称えて祀るにあたり、16代藩主・松平春嶽が佐佳枝迺社と命名した。徳川家康公、秀康公、春嶽公が主祭神。戦災や震災で焼失したが、京都市下鴨にある三井家祖霊社を譲り受け昭和24年(1949)に移築・復元された。現在の社殿は周辺地区の再開発に伴い平成4年(1992)に竣工したもの。

●時間/8:00~17:00(社務所)

